

平成 2 2 年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・朝食を欠食する児童生徒を、平成 1 3 年度の 1 1. 3 %から 0 %を目指す ・幼児、児童、生徒の肥満児の割合を、平成 1 5 年度の 1 6. 7 %から 7 %以下にする 目標 平成 1 6 年度 1 6. 0 % 実績 1 5. 1 % 平成 1 7 年度 1 5. 0 % 1 5. 9 % (0. 8%) 平成 1 8 年度 1 3. 4 % 1 5. 8 % (△0. 1%) 平成 1 9 年度 1 1. 8 % 1 4. 6 % (△1. 2%) 平成 2 0 年度 1 0. 2 % 1 4. 8 % (0. 2%) 平成 2 1 年度 8. 6 % 1 3. 7 % (△1. 1%) 平成 2 2 年度 7. 0 % ・脂肪や油脂をとりすぎない食生活を目指す			実 績		評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当
	① 朝食欠食状況調査の実施	県立保健大とのタイアップにより実施の予定 3 歳から 1 4 歳までを対象に「食生活等状況調査」として実施	年 1 回実施 対象者 1, 5 6 9 人	36			町民生活課 教育委員会
	② 肥満状況調査の実施						
	③ 就寝、起床時間の調査の実施						
	④ 朝ごはん標語の看板設置	設置済看板の補修等	随時実施	18			町民生活課
	⑤ ごはんの大切さ啓発チラシ配布	毎戸配布のほか、スポーツフェスティバルやいのちのまつり等の開催時	年数回実施	106			町民生活課
	⑤ 朝ごはん運動の推進啓発活動	教養講座及び成人式などの開催時	年 1 0 回実施	42			教育委員会
計				202	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(2) 家庭での食に対する理解の促進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 1日当たりの塩分摂取量を、平成15年度の13. 2gから10. 0g未満を目指す ・ 1日当たりの野菜摂取量を、平成14年度の217. 3gから350. 0g以上を目指す ・ 毎日1個のりんごを食べる			実 績		評 価		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動の推進	健康食の普及	いのちのまつり及び随時実施	30			町民生活課
	②	町総合健診時の朝食提供	総合健診受診者への、減塩で野菜の多い朝食の提供	健診期間（17日）に実施（50食／日）	255			町民生活課
	③	離乳食教室の開催	4か月、7か月、10か月児の母親を対象に実施	各月1回実施	43			町民生活課
	④	若いママのための調理実習	乳幼児を持つ母親を対象に実施	年4回	24			町民生活課
	新 ⑤	P T A調理実習	P T A会員を対象に実施	年1回	0			町民生活課
	新 ⑥	野菜を多く使った料理教室の実施	一般町民を対象に実施（鶴遊館、豊明館使用）	年6回	45			町民生活課
	⑦	尿中塩分検査の実施	特定健康診査受診者	年1回実施 対象者2,000人 目標 平均12. 0g	420			町民生活課
	計				817	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3)安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項						
ガイドライン	・食生活と栄養に関する学習の場を増やす ・安全な食品に対する情報提供の場を増やす				実 績			評 価
実施計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	地区伝達講習会の実施	食生活改善推進員による安全な食品及び栄養に関する情報提供	年１０回実施	0			町民生活課
	計				0	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		2 早寝、早起き運動の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)規則正しい生活習慣の促進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・酒は1日1合程度で週に2日の休肝日を目指す ・1日10,000歩のウォーキングを目指す (年齢や健康状態で歩数を個人で調整) ・喫煙者の減少を目指す ・1年に1回は健康診査の受診を目指す 2000実績 2008実績 県下順位 日本一に向けた目標 基本健康診査 50.5% 34.4%(特定健診) — — 胃がん検診 43.2% 55.9% 1 73%以上 大腸がん検診 46.9% 63.1% 1 83%以上 肺がん検診 85.7% 81.2% 1 90%以上 子宮がん検診 45.7% 39.4% 3 70%以上 乳がん検診 49.5% 37.4% 4 72%以上 ・鶴田町健診率県No.1推進対策委員会の設立と各町内に地区委員会組織の活性化を図り、受診率向上を目指す ・十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す			実 績		評 価		
実 施 計 画			事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額(千円)	決算額(千円)	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	生活習慣病予防学習会の実施	随時実施	年25回実施	68			町民生活課
	②	健康診査の実施	特定健診	目標受診数 2,400人	14,904			町民生活課
			胃がん検診	目標受診数 1,900人	9,975		町民生活課	
			大腸がん検診	目標受診数 2,400人	4,284			
			肺がん検診	目標受診数 4,170人	3,595			
			子宮がん検診	目標受診数 690人	3,193			
			乳がん検診	目標受診数 850人	2,154			
	③	がん検診精密検査料自己負担額補助事業	各種がん検診において、要精検者の検査料の一部を補助	573人×限度額4,000円	2,292			
	新④	健診率向上推進大会	健診率日本一を目指す大会	アグネス・チャンによる基調講演、健康づくりシンポジウム	2,512			町民生活課
	⑤	地域体験活動事業	ジュニアリーダー研修会で体験学習	年1回実施 参加目標者数30人	76			教育委員会
			通学合宿で体験学習	年1回実施 参加目標者数25人	80			教育委員会
	⑥	朝の10分間読書	町内全小中高等学校で実施	毎日実施	900			教育委員会
計				44,033	0			

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		2 早寝、早起き運動の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)就寝及び起床の標準時間に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 幼児期 睡眠は、現状が9時間程度であるが、11時間以上を目指す 就寝は、午後8時までを目指す ・ 学童期低学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後9時までを目指す ・ 学童期高学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後10時までを目指す ・ 中学生、高校生 睡眠は、7時間以上を目指す 起床は、朝ごはんの時間を含めた余裕のある起床時間を目指す				実 績			評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	就寝、起床時間の調査の実施	県立保健大とのタイアップにより実施 全児童、生徒を対象	「食生活等状況調査」と一体的に実施	0			町民生活課 教育委員会
	②	早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年3回実施	0			教育委員会
			各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時実施	0			
			乳幼児保護者への啓発	誕生証書交付式 年12回 1歳6ヶ月児健診 年4回 3歳児健診 年5回 就学時健診 6校	0			
計				0	0			

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1) 農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量の最高限度又は希釈倍数の最低限度、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する				実 績		評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等
	①	農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る	年1回開催	0		産業観光課
	②	ポジティブリスト制度の啓発活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供	年1回配布	0		産業観光課
	計				0	0	

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイドライン項目		(2) 農産物の生産履歴の記帳に関する事項					
ガイドライン	・生産履歴の公開と流通情報も組み込んだトレーサビリティ（追跡可能）を図り、消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける				実績		評価
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	① トレーサビリティの強化	各関係機関との検討会及び情報交換会の開催	年2回開催	0			産業観光課
	② 農産物等の生産履歴記帳及び適正農業規範（GAP）の推進	研修会等の開催	年1回開催	0			産業観光課
	計			0	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3) 食品表示の適正化の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・農林物資の規格及び品質表示の適正化に関する法律（改正ＪＡＳ法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のＪＡＳ規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し農産物等の価値を正當に評価される活動を展開する			実 績		評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習への参加	随時	0			産業観光課
	② 農産物生産に関する表示適正化	農協やあるじゃ等と連携を図りながら表示に関する指導活動	年2回実施	0			産業観光課
	計			0	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(4)環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項						
ガイドライン	・ 特別栽培農産物に対する消費者の信頼確保と生産者の生産意欲向上を図り環境にやさしい農業に取り組む産地を育成する ・ 土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減を行い持続性の高い農業生産方式の導入を推進する			実 績			評 価	
実施計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	青森県特別栽培農産物認証制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら農産物認証制度への誘導	目標認証農家15戸	0			産業観光課
	②	エコファーマー認定制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら認定者を増やす	目標認定者170戸	0			産業観光課
	③	日本一健康な土づくり実践事業	農業生産団体が土づくり等の環境保全農業活動を行う	随時	0			産業観光課
	計				0	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(5) 食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・農政改革大綱において消費者の視点を重視した食糧政策構築の観点から消費形態の 多様化や味、鮮度、健康、安全性に対する事項について情報提供する				実 績		評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 食品の安全及び安心に係る 情報	地域住民へ町機関誌並びに チラシやパンフレットなど 活用して農産物の安全・安 心の理解を求める	随時	0			産業観光課
	計			0	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(1)地産地消の推進体制の整備に関する事項					
ガイド ライン	・各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る ・地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る			実 績			評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	地場産品の生産振興の推進と消費拡大	観光農園組織の育成	会員の拡大とネットワーク化推進会議、園地視察会等の開催	0			産業観光課
	②	大豆・米加工施設の利用促進	利用状況等により新商品開発	随時	0			産業観光課
	計				0	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」という。）の積極的使用に関する事項						
ガイド ライン	・マーケティング・リサーチ活動を実施し、地場産品の把握及び販売の強化について 方策を立てる			実 績			評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	青森県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」の生産及び消費拡大	当町産の認証米を農協・あるじゃの加工施設で商品化し消費拡大を図る	あるじゃ25,000kg・学校給食13,000kg・町内小売店他9,000kg	0			産業観光課
	②	転作作物として生産された大豆・小麦加工品の消費拡大	当町産の大豆・小麦をあるじゃ加工施設で商品化し消費拡大を図る	13,000kgをあるじゃ米大豆加工施設で豆腐、テンペ等に加工し販売する	0			産業観光課
				小麦「ゆきちから」6,000kgをあるじゃ大豆米加工施設で加工し販売する	0			産業観光課
	③	各料理教室の開催	町における料理教室	年12回開催(教養講座)	96			教育委員会
				年1回開催(農家女性いきいき講座)	25			産業観光課
計					121	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(3) 地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項					
ガイド ライン	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す			実 績			評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	学校給食応援隊の活動推進	各農家から直接に地場産品を提供してもらう制度の確立	ジャガイモ、玉ねぎ等 5,000kg	0			教育委員会
	②	学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用	米を県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」を使用 11月からりんごを提供	0			教育委員会
	計				0	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品の販路拡大を推進する			実 績			評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 町内イベントでの地場産品の紹介	さくらまつり、へら鮎釣り大会、つるたまつり（米消費拡大イベント「龍巻寿司」）、農産物展、各種特産市等で紹介・販売	年6回開催	679			産業観光課
		成人式・実年式・各大会などの記念品、賞品に活用	年3回開催	150			教育委員会
		フッドリバー市民と親しくする会、新年を祝う会で紹介	年2回実施	653			総務課
	② 町外イベントでの地場産品の紹介	かわさき市民祭りで紹介・販売	年1回参加	175			産業観光課
		ふるさと鶴田会、県庁鶴田会で紹介	年2回実施	409			総務課
	計			2,066	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		5 食育推進の強化								
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項								
ガイドライン	・ 保育所、幼稚園、学校で1年に1回は学習の実施を目指す				実 績			評 価		
実施計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	子どもと一緒にクッキング	各小学校を対象に、朝ごはん作りの体験教室を実施	各小学校各学年対象 年20回実施	100			町民生活課		
	②	朝ごはん運動推進体験学習の実施(教育ファームの推進)	農業者の指導を受けながら農作業を体験	米づくり(4校) りんごづくり(4校) 野菜づくり(6校)	0			教育委員会		
	③	地域子ども教室推進事業	各小学校を対象に親子料理教室「キッズインザキッチン」の実施	全小学校	120			教育委員会		
	計				220	0				

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)教育関係者の食育学習の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す				実 績		評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等
	新 ①	食育と生活リズム推進委員会	小中学校・保育所等の情報交換及び推進のための方策研究	年2回実施	0		教育委員会
	②	食と栄養に関する学習会の実施	各小中学校・保育所等の教育関係者を対象	年1回実施	0		教育委員会
	計				0	0	

平成 2 2 年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3) 学校給食を通じた食育の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す				実 績		評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年 1 2 回実施	0		教育委員会
	新 ②	食に関する指導	各小中学校を対象に栄養教諭が食育の授業を実施	年 4 5 回実施	0		教育委員会
	計			0	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(4)国際交流による食育の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す				実 績		評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	2,110			教育委員会
	計			2,110	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		6 米文化の継承					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す				実 績		評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 町内外のイベントで地域産農産物等の紹介	各地で行われる特産品紹介イベント等に積極的参加	随時実施	0			産業観光課
	② 道の駅を中心とした情報交流の場の開催	農協及び農業団体が連携して消費者と交流	年3回開催	0			産業観光課
	計			0	0		

平成22年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		6 米文化の継承					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)伝統的な米文化の継承の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す ・地域における伝統的な米食文化の継承を目指す				実 績		評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施	4 小学校（鶴田小・菖蒲川小・梅沢小・胡桃館小） 川崎京町小（学校田体験学習） 田んぼの学校の開催	40			教育委員会
				154			産業観光課
	② 歴史文化の伝承事業	米料理や伝統料理を継承、昔の農具の展示	鶴田町歴史文化伝承館の活用	324			教育委員会
	計			518	0		

合 計	50,087	0
-----	--------	---